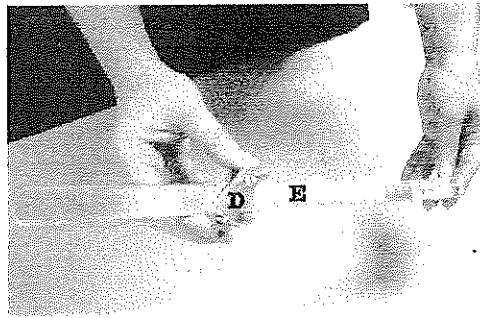
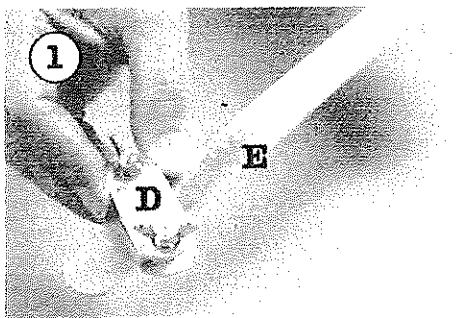
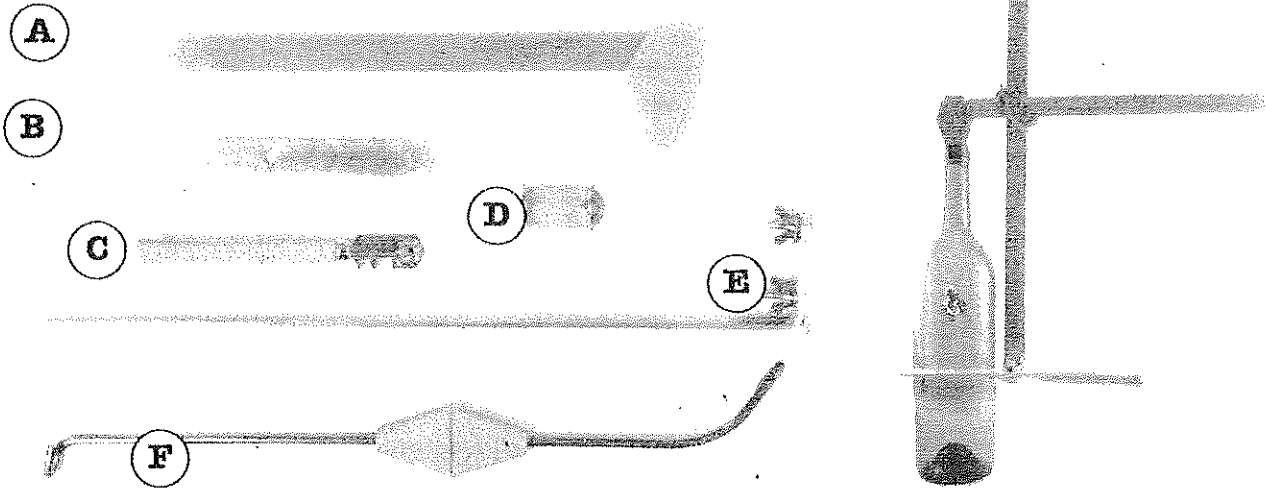


g² bottle cutter
GENERATION GREEN BOTTLE CUTTER FOR ECO CRAFTING

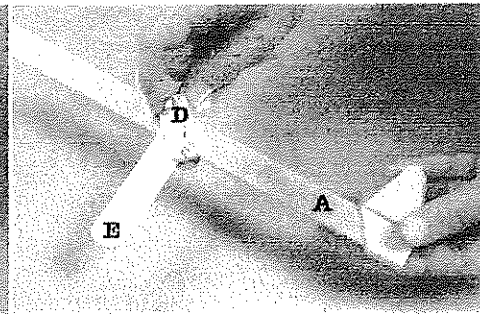
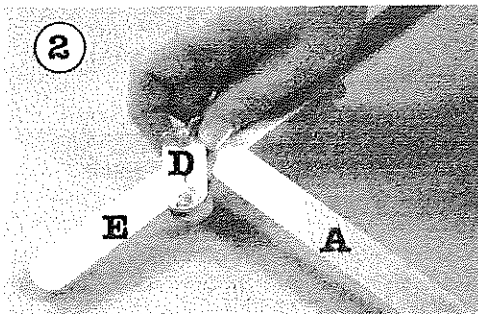


The **g²** bottle cutter is made from recycled aluminum

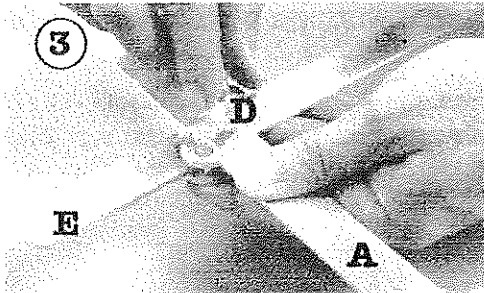
ASSEMBLY



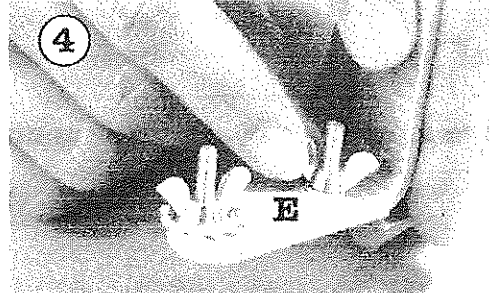
パーツDの2つの蝶ネジを緩め、パーツEのシャフトにスライドさせます。



パーツAをパーツDにスライドさせます。



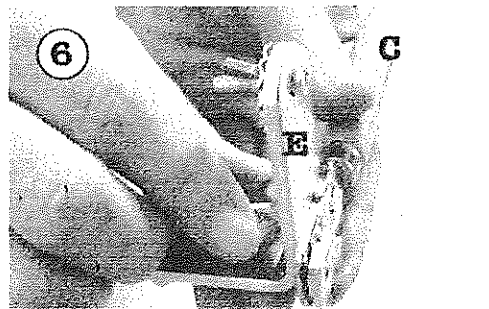
③ 2つの蝶ネジを締め位置を決めます。



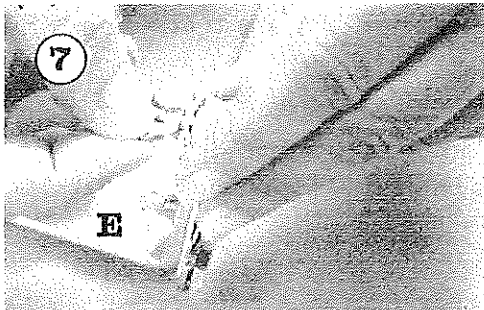
④ パーツEの蝶ネジを緩めます。



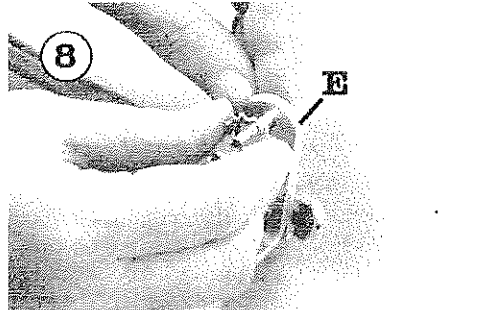
⑤ カッターヘッドに近い方の溝にパーツEのネジをスライドさせて入れます。



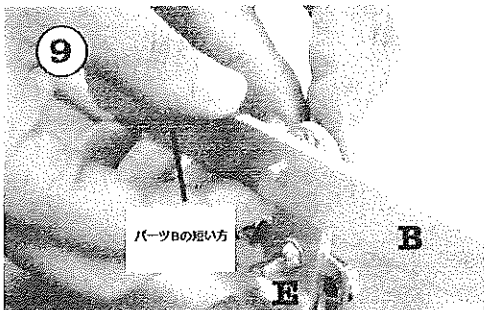
⑥ 蝶ネジを締めてカッターの位置を固定します。



⑦ パーツEのベースから2番目の蝶ネジを緩め外します。



⑧ ロックワッシャーの歯が下に向くようにしてネジに入れます。



⑨ ロックワッシャーのトップに乗る様にパーツBをネジにスライドさせます。パーツBの短い方のエンドがカッターハンドルに平行になる様にします。



⑩ ワッシャーと蝶ネジを再び取り付け締め付けます。

この度はジェネレーショングリーンボトルカッターをお買い求め頂き誠にありがとうございました。皆様のご購入が我々の取り組み"クラフティング グリーンワールド トゥギャザー"を一步前に前進させてくれます。

"クラフティング グリーンワールド トゥギャザー"とはリサイクル製品や天然の資源を利用したクラフトを製造する活動です。ジェネレーショングリーンボトルカッターをお使い頂く事で皆様も廃瓶を再び利用価値のあるアートに変身させこの私たちの活動の一部に参加していただくこととなります。

【作業を始める前に】

この説明書をよくお読みください。この説明書には丸い形をしたボトルやジャーにスコアー（傷）を入れカットできる方法を書いてあります。この商品キットには（1）ボトルカッター、（1）タッパー、（各1枚）#60と#120のサンドペーパー、（1）説明書 が含まれています。

- 開梱の後、ジェネレーショングリーンボトルカッターを水平な作業テーブルの上で組み立ててください。
- カット作業の際には保護メガネを着用してください。
- この商品キットには小さなパーツが含まれています。小さなお子様の手が届かない場所に保管してください。
- カッターの刃は常にオイルをつけてご使用ください。

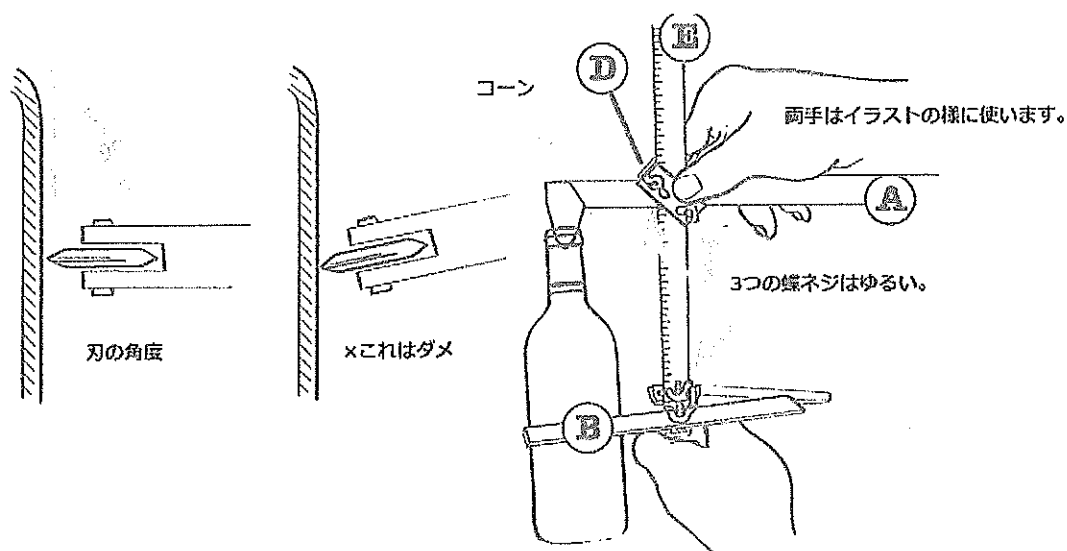
【オイル】

オイルは2~3回のカット毎に必ずカッターの刃に補給してください。オイルをつけるとカッターの刃の寿命が長くなりますし、スコアーが綺麗に入るのでカットの失敗も少なくなります。

【洗浄】

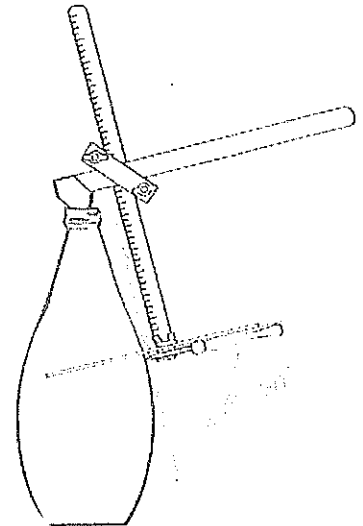
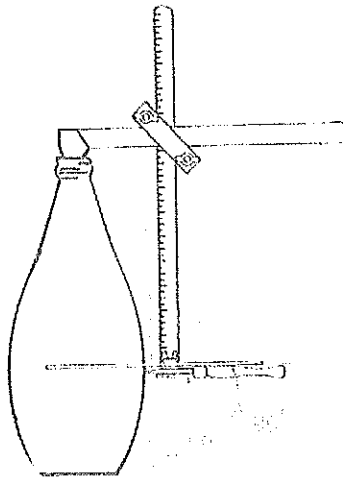
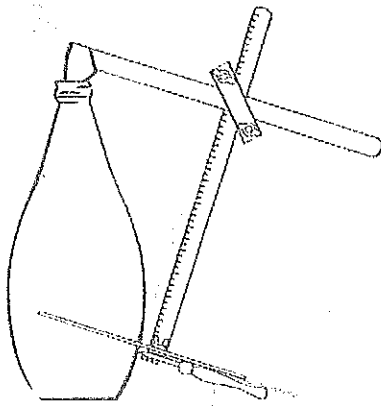
ボトルのラベルや汚れはガラスクリーナーや水とお酢を混ぜた洗浄液で綺麗に拭き取っておきましょう。汚いボトルの表面ではガラスカッターのスコアーが入りにくくなります。

カッターをボトルに合わせて調整します。最初にジェネレーションボトルカッターのコーンをボトルの注ぎ口に入れます。そしてパーツDの蝶ネジを緩めます。パーツAに沿ってガラスカッターの刃がボトルに当たる位置までスライドさせます。次にパーツEを上か下にスライドさせカットしたい高さに調整します。ガラスカッターの刃の角度はボトルに対して90度直角でなくてはいけません。最後にパーツDの蝶ネジを締めます。

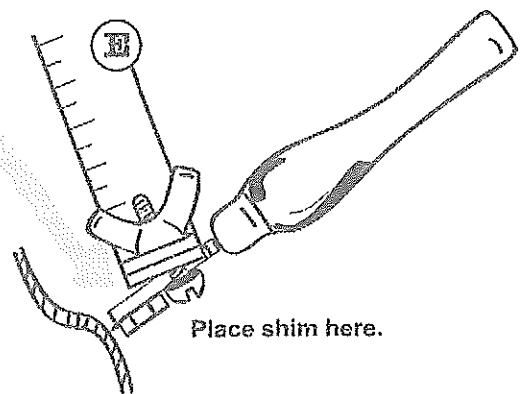
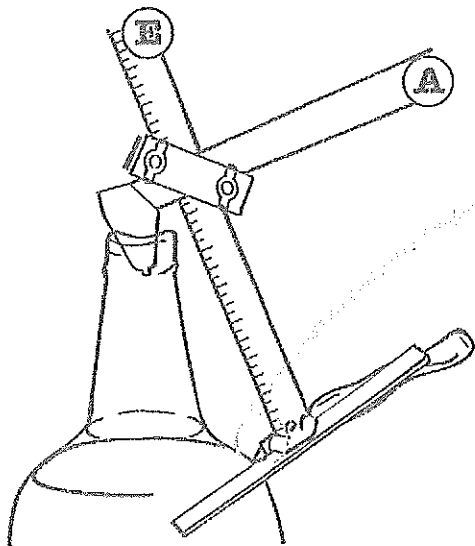


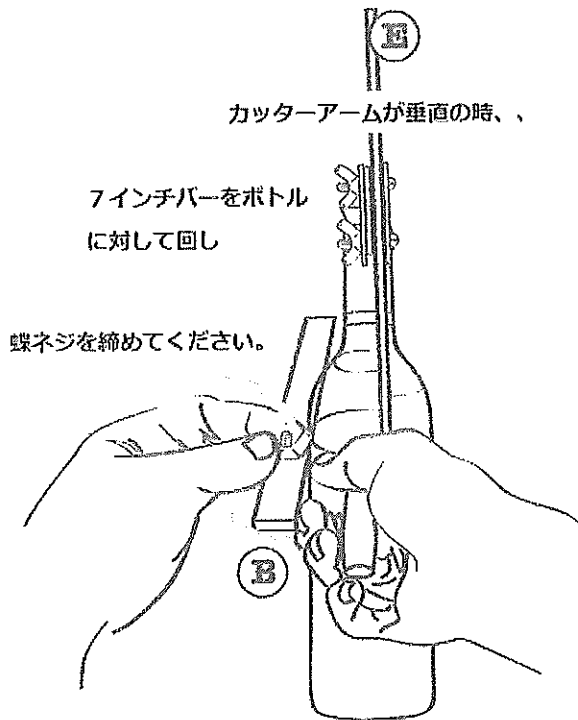
正しいボトルカッターのポジショニング

コーン



もしこの商品キットの付属品で直角90度が出ない場合は、ガラスカッターを固定している小さなボルトをゆるめマッチ棒（や代わりになる物）をカッターとベース（パーツE）の間に挟んでください。下のイラストを参照してください。





カッターアームが垂直の時、

7インチバーをボトル
 に対して回し

蝶ネジを締めてください。

サイドがストレートなボトルをカットする際、カッターの刃はボトルのサイドに対して90度直角にしてください。ガラスカッターを固定しているシャフト（パーツE）はボトルに対して垂直になるように7インチバー（パーツB）を調節してください。

この調整をするには、左のイラストの様にボトルの中にボトルカッターを位置させ、ガラスカッターのハンドルがあなたに向くようにします。また左のイラストの様に、この状態であなたの手をガラスカッターに乗せガラスカッターが直角90度でボトルに当たっていることを確認します。ここで同時にカッターがボトルのラインに沿って垂直であることも確認できます。

7インチバー（パーツB）をボトルに対して回し蝶ネジを締めて位置を確定してください。この調整がとて重要で、この調整がうまくいくとカッターがボトルの周囲を正確に回転できます。

【スコアー（傷）をガラスに入れる】

ガラスのカットでは、軽いスコアーの方がその後の割取りでうまく割れます。もしスコアーがうまく行っていると、カットの途中、かすかに継続したジジジという引っ掻き音が聞こえます。真ん中のイラストの様に手を添えてスコアーをいれてください。

もしカッターをベンチの様に握ったらスコアーを入れる際に真っ直ぐにならない場合が多くあります。右手は動かさない状態でボトルに力をかけ、左手でボトルを反時計回りに回転させつつ左手は右手に対して力をかけるように作業をしてください。両手がお互いにほぼ同じ力を掛け合う事でよいスコアー音が聞こえ、スコアーも正しく水平に入ります。スコアー音が聞こえない場合やスコアーが深すぎる場合ではこの後の割取りがうまくいかない場合があります。

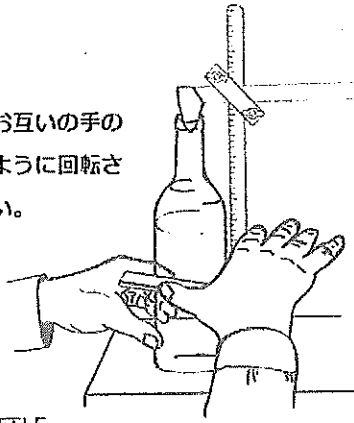
スコアーは途中でストップせず継続して行う事が望まれます。最終、一回転したら一度スコアーを入れた箇所に戻りスコアーの音が大きくなりますので、そこで回転をストップします。同じ箇所を何度もスコアーすると刃の寿命が短くなり、割取りもうまくできません。ご注意ください。

スコアーが継続したヘアラインの様に細くなるよう速取してください。

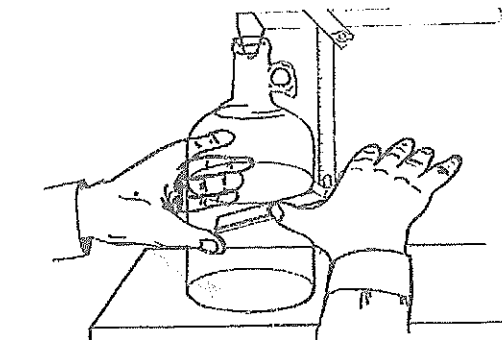
もしスコアーが途中で途切れ途切れになっている箇所を発見したら、スコアーのされていない箇所にのみ、再びスコアーを入れてください。同じ箇所を何度もスコアーを入れても割取りもうまくできない場合が多いことと、刃の寿命を著しく短くする原因になります。

このジェネレーションボトルカッターは、おおよそのような大きさのボトルでも丸い形であればカットができます。また大きめの広口のジャーでもいろいろな高さの位置でカットできます。

両方の手にお互いの手の
 力がかかるように回転さ
 せてください。



ROTATE BOTTLE



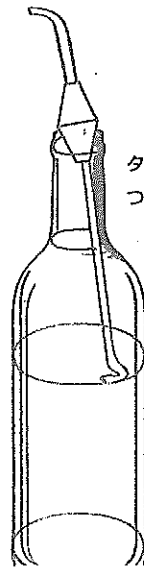
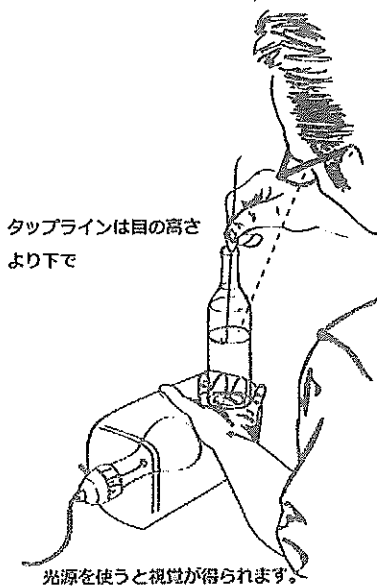
ROTATE JUG

【ガラスの割取り】

保護メガネを着用し安全に注意して作業をしてください。ガラスを割り取るには熱水と冷水を使用します。大ききサイズの容器に水を沸騰するまで熱します。いったん沸騰したら火を止め少しだけ温度を下げます。もう一つの容器には氷をいれた冷水を用意します。2つの容器を近くに準備します。

まずスコアーをいれたボトルを熱水の中にスコアーをいれたラインが浸かる位置まで5秒間ひたします。そして次は直ぐに冷水に5秒間ほど浸します。スコアーラインが割れていく音が聞こえます。この熱水→冷水作業をガラスが完全に割れるまで繰り返します。この方法で割りと割取りしたラインが綺麗に割取れます。

熱水もしくは冷水の容器の中で割れてしまったガラスは tong などに取り出しましょう。特に熱水の中で残ったガラスはとても熱くなっています。この熱水→冷水に浸す作業を繰り返しても割れない場合は、付属のタッピング工具をつかって割取りを行ってください。



手でここをまげて



タッパーをボトルの中に入れスコアーの上を軽くタップ（叩き）ます。スコアーにラン（割れ）が見えたら、ランの3mmほど前のまだランが入っていない箇所をタップする様に心がけます。ランが入った箇所をたたくと右絵（FIG.1）の様にランが下に逃げる傾向になります。またタップが強すぎたら（FIG.2）の様にランが上に逃げてしまう傾向にあります。



FIG. 1



FIG. 2

GLASS CUTTER

このジェネレーションボトルカッターでは6枚のカット刃が装備されています。カッターの刃は使用とともに劣化して切れ味が悪くなります。刃の交換はまずパーツEからガラスカッターを外し、ガラスカッターの刃の横面についているネジを緩め刃を新しい刃が出てくるまで回転させてください。もとに戻すにはP3の手順にしたがってネジをしめてください。このガラスカッターは普通のストレートカッターとしても使用できます。

荒い切断面の研磨

浅い容器の中に3mmの深さになるよう水をいれます。そして付属の#60のサンドペーパーを敷きます。ボトルをしっかりと持ち切断面をサンドペーパーの面に回転運動をさせながらこすります。ボトルに角度をつけてこするとスムーズなエッジになります。#60番で削りが終わると、#120を敷き、さらにこすりスムーズな面に仕上げます。

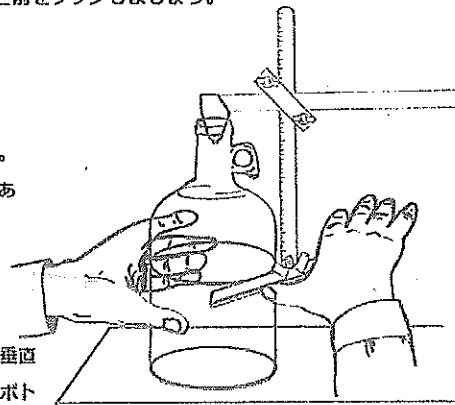
広口ジャーのカット

ジャーのフタをします。そしてコーンの先端とおおよそ同じ大きさの穴をアイスピックや釘を使って開けます。コーンの先端をその穴に入れてボトルの時と同じカット作業を行ってください！。

作業のヒント集

1. スコアーはあまり深くなりすぎずに、深いスコアーは激しいタッピングが必要になり割れの原因になります。
2. 明るい室内で作業しタップするランを目視してください。ランより3mmほど前をタップしましょう。
3. フインチバー（パーツB）の調整を的確にすることがポイントです。
4. タップしてもランが入らない場合は、タップの方向をスイッチしてみてください。おそらくガラスの厚みがある部分にさしかかっているのかもしれませんが。厚みのある部分を強引にタップするとランが思わぬ方向に走ります。

Press



Press

リングカット

リング（わっか）をカットすることもできます。同じ高さのリングが必要な場合は垂直のカッターアームに定規で印をつけ作業をしてください。最初のカットはボトルのボトムで行いその後必要な高さでスコアーを入れていきます。割取りはP7の熱水/冷水の割取り方法で割取りをおこなうとよいです。

接着材を使用する場合

クリアーのシリコン接着剤を推奨しています。シリコンはディッシュウオッシャーに耐えられると知られています。接着剤の説明書をよく読んで接着も行ってください。ガラスを接着する切断面は#60のサンドペーパーで平面に磨らしておきましょう。ガタガタした面は接着が難しくなります。